

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成26年10月10日
【四半期会計期間】	第115期第3四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	岡野バルブ製造株式会社
【英訳名】	OKANO VALVE MFG.CO.LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡野 正紀
【本店の所在の場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡野 武治
【最寄りの連絡場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡野 武治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第114期 第3四半期連結 累計期間	第115期 第3四半期連結 累計期間	第114期
会計期間	自平成24年 12月1日 至平成25年 8月31日	自平成25年 12月1日 至平成26年 8月31日	自平成24年 12月1日 至平成25年 11月30日
売上高(千円)	4,358,806	4,717,574	7,404,326
経常利益又は経常損失() (千円)	196,434	90,117	304,043
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	121,777	34,625	187,500
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	103,629	46,760	206,180
純資産額(千円)	8,498,103	8,817,609	8,807,881
総資産額(千円)	10,190,954	10,350,522	11,140,821
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	6.89	1.96	10.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	83.4	85.2	79.1

回次	第114期 第3四半期連結 会計期間	第115期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	0.09	4.11

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 第114期及び第115期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。
第114期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により景気は緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、新興国経済の景気減速懸念など国内景気を下押しするリスクも見られ、企業を取り巻く環境は依然として不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループは、発電プラント用パルプの製造販売およびメンテナンスを主要事業としておりますが、東日本大震災から3年が経過した現在も原子力関連の需要は依然低調であり、当社の業績は原子力発電所稼働停止により大きな影響を受けております。

このような状況の下、パルプ事業におきましては、国内では島根原子力発電所および川内原子力発電所向け震災対策弁や新設プラントである川崎火力発電所2号系列2軸向けの販売が中心となりました。また、海外につきましては、台湾、インド、ベトナムの新設プラント向けの売上が大幅に増加したことから、パルプ事業全体では前年同期に比べ増収となりました。

メンテナンス事業におきましては、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に向けた点検工事の他、火力発電所向け小規模工事や除染活動など復興関連工事にも注力しましたが、夏季における工事端境期の影響を受け、売上高は引き続き低調に推移いたしました。

損益面につきましては、海外における新設火力プラント向け販売の増加が好材料になったものの、低調が続くメンテナンス事業の影響が大きく、営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,717百万円（前年同期比8.2%増）、営業損失92百万円（前年同期は営業損失356百万円）、経常利益90百万円（前年同期は経常損失196百万円）、四半期純利益34百万円（前年同期は四半期純損失121百万円）となりました。

なお、営業外収益には、東日本大震災に伴う受取補償金122百万円および平成25年度先進超々臨界圧火力発電実用化要素技術開発費補助金10百万円が含まれております。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ790百万円減少し、10,350百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が560百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,078百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ800百万円減少し、1,532百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が246百万円、未払法人税等が172百万円、未払費用が123百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ9百万円増加し、8,817百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が9百万円増加したことによるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は62百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,400,000
計	59,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,930,000	同左	東京証券取引所 市場第二部 福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	17,930,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日		17,930,000		1,286,250		543,750

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

なお、三井物産株式会社から平成26年9月17日付で大量保有報告書に係る変更報告書の写しの提出があり、以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の確認ができないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

当該大量保有報告書に係る変更報告書の内容は以下のとおりです。

氏名または名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する 所有株式の割合(%)
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町一丁目2番1号	1,202,000	6.70

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 265,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,572,000	17,572	
単元未満株式	普通株式 93,000		
発行済株式総数	17,930,000		
総株主の議決権		17,572	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個、すべて失念株)、また「単元未満株式」の欄には、自己株式85株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
岡野バルブ製造(株)	北九州市門司区中町1番14号	265,000		265,000	1.5
計		265,000		265,000	1.5

(注) 当社は、平成26年8月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、平成26年9月1日付で300,000株を自己株式として取得しました。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,174,660	2,098,811
受取手形及び売掛金	4,641,917	3,563,566
製品	79,974	82,581
仕掛品	983,647	1,544,086
原材料	100,438	116,372
その他	368,064	331,454
流動資産合計	8,348,703	7,736,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	688,100	665,377
機械装置及び運搬具(純額)	930,589	849,035
その他(純額)	536,804	455,700
有形固定資産合計	2,155,494	1,970,113
無形固定資産	28,635	28,309
投資その他の資産		
投資有価証券	263,389	296,305
繰延税金資産	251,685	228,878
その他	96,512	93,642
貸倒引当金	3,600	3,600
投資その他の資産合計	607,987	615,227
固定資産合計	2,792,118	2,613,649
資産合計	11,140,821	10,350,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	516,005	269,750
未払法人税等	186,961	14,594
未払費用	239,403	115,966
賞与引当金	33,740	62,420
その他の引当金	235,197	49,592
その他	129,123	120,878
流動負債合計	1,340,430	633,201
固定負債		
退職給付引当金	669,571	622,216
役員退職慰労引当金	199,758	212,846
その他	123,180	64,648
固定負債合計	992,509	899,710
負債合計	2,332,940	1,532,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	7,047,894	7,047,181
自己株式	87,703	89,397
株主資本合計	8,790,190	8,787,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,613	35,081
繰延ヘッジ損益	7,923	5,256
その他の包括利益累計額合計	17,690	29,825
純資産合計	8,807,881	8,817,609
負債純資産合計	11,140,821	10,350,522

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	4,358,806	4,717,574
売上原価	3,816,136	4,008,148
売上総利益	542,670	709,425
販売費及び一般管理費		
役員報酬	136,088	131,654
給料手当及び賞与	232,645	244,332
賞与引当金繰入額	13,881	13,481
退職給付費用	19,337	14,306
役員退職慰労引当金繰入額	13,047	13,087
減価償却費	16,275	15,894
その他	468,253	369,097
販売費及び一般管理費合計	899,529	801,855
営業損失()	356,858	92,430
営業外収益		
受取利息	109	106
受取配当金	4,922	4,719
持分法による投資利益	11,889	16,612
受取賃貸料	20,413	21,564
補助金収入	32,840	10,851
受取補償金	91,116	122,182
その他	9,150	15,554
営業外収益合計	170,442	191,591
営業外費用		
支払利息	1,081	888
減価償却費	6,721	7,266
その他	2,214	890
営業外費用合計	10,017	9,044
経常利益又は経常損失()	196,434	90,117
特別損失		
固定資産除却損	1,700	-
特別損失合計	1,700	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	198,134	90,117
法人税、住民税及び事業税	3,270	17,187
法人税等調整額	79,627	38,303
法人税等合計	76,356	55,491
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	121,777	34,625
四半期純利益又は四半期純損失()	121,777	34,625

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	121,777	34,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,148	9,467
繰延ヘッジ損益	-	2,666
その他の包括利益合計	18,148	12,134
四半期包括利益	103,629	46,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,629	46,760
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
減価償却費	236,475千円	246,403千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月27日 定時株主総会	普通株式	70,679	4.0	平成24年11月30日	平成25年2月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月27日 定時株主総会	普通株式	35,338	2.0	平成25年11月30日	平成26年2月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	パルプ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,075,314	1,283,492	4,358,806	-	4,358,806
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,075,314	1,283,492	4,358,806	-	4,358,806
セグメント利益 又は損失()	97,483	84,394	13,088	369,947	356,858

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 369,947千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	パルプ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,368,586	1,348,987	4,717,574	-	4,717,574
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,368,586	1,348,987	4,717,574	-	4,717,574
セグメント利益	162,856	113,325	276,182	368,612	92,430

(注) 1. セグメント利益の調整額 368,612千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	6円89銭	1円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	121,777	34,625
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	121,777	34,625
普通株式の期中平均株式数(株)	17,669,519	17,666,598

前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため、記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月8日

岡野バルブ製造株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 次男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岡野バルブ製造株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岡野バルブ製造株式会社及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。